

# 骨 材 試 験 成 績 表

株式会社 ケイナン 御中

2023年 3月 3日

西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社

広島支店 広島総合事務所  
統括所長 廣本輝夫

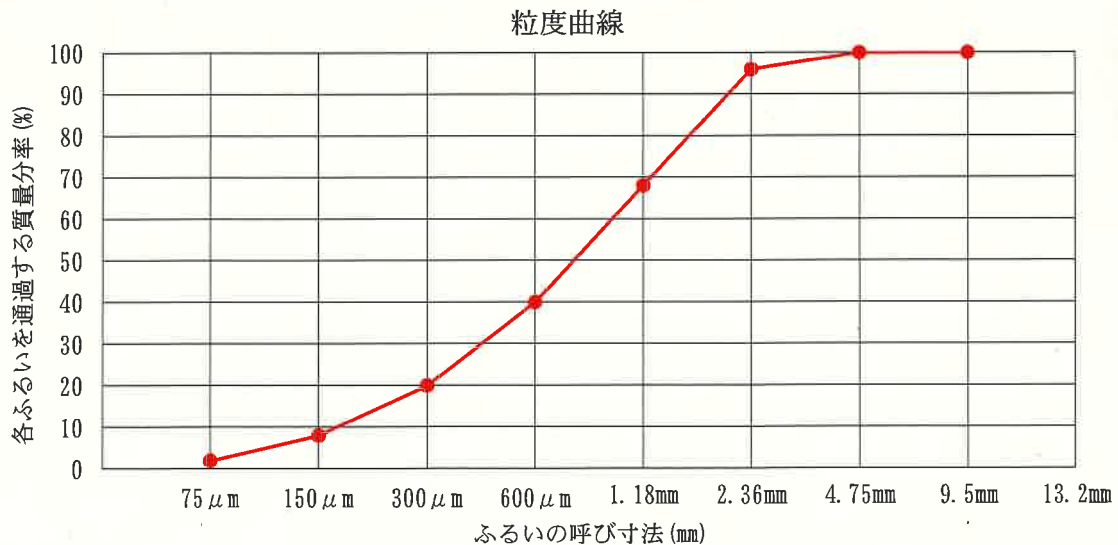


ご依頼の材料試験結果は下記のとおりです。

業 務 名	アスファルト事前審査		
試 料 名	砂 (加工砂) 中砂		
産 地	島根県仁多郡奥出雲町横田		
採取年月日	-		
骨材の種類	加工砂	最大寸法 (mm)	2.36

ふるい分け試験		試 験	実 測 値	規 格 値
呼び寸法	各ふるいを通過する 質量分率 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	表 乾 2.581	—
			か さ 2.560	—
9.5 mm	100		吸水率 (%) 0.84	—
4.75	100		安定性損失量 (%) 1.0	—
2.36	96		微粒分量 (%) —	—
1.18	68		粒形判定実積率 (%) —	—
600 μm	40		モルタルの膨張率 (%) —	—
300	20		ポップアウト (個) —	—
150	8		粘土塊量 (%) 0.02	—
75	2			
受皿	-		粗粒率 2.68	—



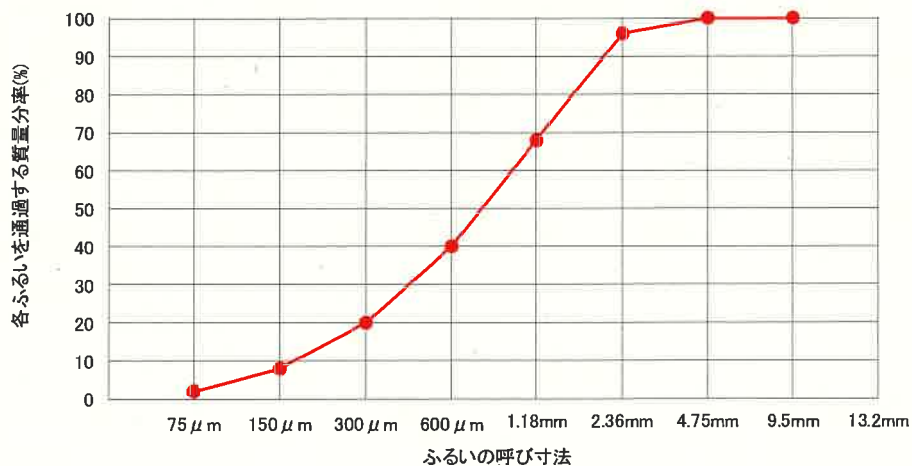
D22-171

確認者	試験者

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験		
業務名	アスファルト事前審査		
試料名	砂(加工砂)中砂	試験者	中尾 喜之
採取地	島根県仁多郡奥出雲町横田	試験場所	広島総合事務所 土木試験課
採取年月日	-	試験年月日	2023年2月13日
ふるい分け手法	手動	最大寸法(mm)	2.36

試験室の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		
	21		49		
質量差 注(1)	試験前の試料の質量(g)	試験後の試料の質量(g)	試験前後の試料の質量差(%)	粗粒率	
		825.1	823.6	0.2	2.68
ふるいの呼び寸法	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量の累計(g)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)
9.5 mm	0.0	0	0.0	0	100
4.75	0.0	0	0.0	0	100
2.36	33.8	4	33.8	4	96
1.18	228.1	28	261.9	32	68
600 μm	230.5	28	492.4	60	40
300	164.3	20	656.7	80	20
150	102.1	12	758.8	92	8
75	48.6	6	807.4	98	2
受皿	16.2	2	823.6	-	-
計	823.6	100	823.6	-	-

粒度曲線



注(1) 連続する各ふるいの間にとどまった試料の質量と受皿中の試料の質量との総和は、ふるい分け前に測定した試料の質量と1%以上異なってはならない。

舗装調査・試験法便覧 A001	細骨材の密度及び吸水率試験	
--------------------	---------------	--

業務名	アスファルト事前審査	
試料名	砂(加工砂)中砂	試験者 中尾 喜之
採取地	島根県仁多郡奥出雲町横田	試験場所 広島総合事務所 土木試験課
採取年月日	-	試験年月日 2023年2月6日
最大寸法(mm)	2.36	フラスコの容積 500 ml

試験室の状態		室温(°C)	湿度(%)
		17	42
測定番号		1	2
表 乾 密 度	① フラスコ番号	1	2
	② フラスコの質量 (g)	229.0	212.1
	③ 水温(キャリブレーション) 注(1) (°C)	20	20
	④ 水で満たしたフラスコの質量 (g)	727.0	710.2
	⑤ 試料の質量 (g)	500.2	500.2
	⑥ 水と試料で満たしたフラスコの質量 (g)	1033.3	1017.4
	⑦ 水の質量 ④+⑤-⑥ (g)	193.9	193.0
	⑧ 水温(試験時) 注(1) (°C)	20	20
	⑨ 水の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	0.9982	0.9982
	⑩ 表乾密度 ⑤×⑨÷⑦ (g/cm <sup>3</sup> )	2.575	2.587
度	⑪ 2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )	2.581	
	平均値からの偏差 注(2) (g/cm <sup>3</sup> )	0.01	
吸 水 率	⑫ 乾燥前の試料の質量 (g)	500.2	500.2
	⑬ 乾燥後の試料の質量 (g)	496.0	496.1
	⑭ 吸水率 (⑫-⑬)÷⑬×100 (%)	0.85	0.83
	⑮ 2回の試験の平均値 (%)	0.84	
	平均値からの偏差 注(2) (%)	0.01	
かさ 密 度	⑯ 絶乾密度 ⑩×⑬÷⑫ (g/cm <sup>3</sup> )	2.553	2.566
	⑰ 2回の試験の平均値 (g/cm <sup>3</sup> )	2.560	
	平均値からの偏差 注(2) (g/cm <sup>3</sup> )	0.01	

注(1) 試料は、24時間吸水させる。水温は吸水時間の少なくとも20時間は20±5°Cに保つ

注(2) 平均値からの差が、密度の場合は0.01g/cm<sup>3</sup>以下、吸水率の場合は0.05%以下でなければならない。

JIS A 1122

## 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験

業務名 アスファルト事前審査

試料名 砂(加工砂)中砂

試験者 中尾 喜之

採取地 島根県仁多郡奥出雲町横田

試験場所 広島総合事務所 土木試験課

採取年月日 -

試験開始日 2023年2月6日

最大寸法(mm) 2.36

試験完了日 2023年2月14日

試験溶液密度(g/cm<sup>3</sup>) 1.159

繰り返し回数 5

溶液の温度(°C) 20

ふるい分け試験				②試験前の 各群の質量(g)	③試験後の 各群の質量(g)	④各群の 損失質量分率 (1-③/②)×100 (%)	骨材の 損失分率 ①×④/100 (%)
通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 質量 (g)	①各群の 質量分率 (%)				
0.15	—	64.8	8	—	—	0.0	0.0
0.3	0.15	102.1	12	—	—	0.0	0.0
0.6	0.3	164.3	20	100.0	98.8	1.2	0.2
1.18	0.6	230.5	28	100.0	99.2	0.8	0.2
2.36	1.18	228.1	28	100.0	98.3	1.7	0.5
4.75	2.36	33.8	4	—	—	1.7	0.1
9.5	4.75	0.0	0	—	—	—	—
合計		823.6	100	—	—	—	1.0

注(1) 骨材の損失質量分率は、各群の質量分率と各群の損失質量分率との積の総和とする。試料の質量分率が5%未満の群の損失質量分率は、実際に試験を行った最も近い群の損失質量分率を採用する。

注(2) 0.3mmふるいを通過する骨材の損失質量分率は0とする。

JIS A 1137	骨材に含まれる粘土塊量の試験
------------	----------------

業務名	アスファルト事前審査		
試験料名	砂(加工砂)中砂	試験者	中尾 喜之
採取地	島根県仁多郡奥出雲町横田	試験場所	広島総合事務所 土木試験課
採取年月日	-	試験年月日	令和5年2月13日
最大寸法(mm)	2.36		

試験室の状態	室温 (°C)		湿度 (%)	
	21		49	
測定番号	1		2	
① 試験前の試料乾燥質量 (g)	351.7	335.6		
② 試験後の試料乾燥質量 (g)	351.6	335.6		
③ 損失質量 ① - ② (g)	0.1	0.0		
④ 粘土塊量 = ③ / ① × 100 (%)	0.03	0.00		
⑤ 平均値 (%)	0.02			
平均値からの偏差 (%)	0.02			

注(1) 精度:試験を2回行った場合、平均値との差が0.2%以下でなければならない。

備考: